

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2020.07 >

BULLETIN

2020年7月～2021年6月



国際会長 Jacob Kristensen「VALUES , EXTENSION and LEADERSHIP」(デンマーク)
アジア太平洋地域会長 David Lua「Make A Difference / 変化をもたらそう」(シンガポール)
東日本区理事 板村哲也「Let' enjoy Changes / 変化をたのしもう！」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長 柿沼敬喜「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」(東京グリーン)
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆を広げよう」(グリーン)

会長 西澤 紘一
副会長 浅見 隆夫
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 青木 方枝
監事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

7月 さあスタート

主の教えを愛し その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れの
ほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉もしおれることは
ない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす。

<ワイズに入会した時に誓った教えを振り返り、大切にグリーン
繁栄に貢献して参りましょう。>

(詩編1:2～3)

2020年07月 キックオフ 例会

日時:2020年07月15日(水) 15:30～17:30
場所:東京YMCA東陽町センター YMCAホール
江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565

受付:根本君 司会:佐野君

開会点鐘 西澤会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 古平君
ゲスト・ビジター紹介 西澤会長
関東東部部長公式訪問 挨拶 柿沼部長

メンバースピーチ 東京YMCA 木村卓司主事
「ミャンマーYMCA・東京YMCA 交流レポート」

ニコニコ献金 全員
神田川関連報告 目黒君
YMCA 情報 木村君
Happy Birthday<7月 新倉健司メン
塩入淑子 特メネット
布上信子メネットの3名>
ニコニコ発表 青木君
閉会点鐘 西澤会長

2020 新年度を迎えて

会長 西澤 紘一

今年は、クラブの幹部のメンバーが関東東部の部長を始め、役員に就任されたので、私はもう1年会長職を引き継ぐことにした。

ここ数年、クラブ会員は2名増えれば、3名減るなど漸減の傾向にあり、22年度の会員獲得目標を見ても思わずため息が出る。2020年こそオリンピックの年だと張り切って迎えたが、2月ごろからコロナ感染症の流行が始まり、我がクラブも3月例会を最後にテレミーティングを余儀なくされた。3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保、マスク装着、咳エチケットなど、いかにも重苦しい世の中になってしまった。

ノーベル賞受賞者カミュの言う不条理の世界の中に放り出された感がある。彼の書いた「ペスト」の最終章に、ペストが終焉したことを喜ぶ市民に対して、医者リュウがつぶやく。「ペスト菌は決して死なない、どこかに潜んで、じっと再生の時を待っている。そして、いつか幸福な都市に現れて彼らを死なせるために来るであろう」と。

コロナ感染症も同じである。いったん終息しても菌が消滅することは無い。人為的な不条理行為なら、まだ対応は可能であるが、天変地異、感染症から来る不条理だけはどう

しようもない。我々もこの不条理をあえて受け入れ、粛々と与えられた役割を果たしてゆく以外にない。今年は、耐える年である。

【例会出席率】 在籍:17名 メーキャップ 0名 出席率 10/17 59%

出席:6月(メン10名、メネット1名)計11名

【ニコニコ】 6月例会 11,000円

<2020年06月 第一例会 報告>

日時:2020年6月17日(水) 14:00~16:00

場所:東陽町コミュニティーセンターYMCA ホール

出席:青木・柿沼・木村・古平・佐野・西澤・西本(晃)

布上(征)・根本・樋口 布上(信)メネット (11名)



今期最後の例会はYMCA東陽町センターのホールで開催した。3月以降、久方ぶりのYMCAホール、出席者11名はゆったりとソーシャルディスタンスで着席、マスク着用、集まる時間帯も会場までの交通機関の空いている時間帯として午後2時例会開始とした、もちろん食事は無しである。

3月以降、4月、5月の東陽町での例会はもとより、秋葉原での事業委員会、役員会などもすべて中止とし、委員会はZoomによるウェブ会議がすっかり定着、今後も例会以外の委員会はウェブ会議とすることで皆が合意している。資料はメール交換などもしっかり行えば、クラブの情報共有、協議事項の確認などは十分可能であることを皆が自覚したことは今回のコロナ禍にあつての収穫と言える。世界的なZoomアプリの爆発的利用拡大は理解できる。

新しい期に向けてすべての行事予定を確認し、情報を共有するために7月1日(水)の第三例会:事業委員会と8日(水)の第二例会:役員会をZoomによるウェブ会議で行い、参加者はそれぞれ2時間近くの協議をPCに向かっていつもよりしっかり「蜜」に話し合った。

本日の例会は、今期を振り返って、というより、ここ数か月の外出自粛「巣ごもり」の感想を語ってもらうことになった。

読書、映画鑑賞、いつもより長〜く歩く散歩、プランターの野菜作り、庭いじり、男の料理に励むひと、PCでのバーチャル飲み会・同窓会に嵌まる、各メンバー思い思いの毎日を過ごして、この憂鬱な時期を乗り切ろうと努力している。

東京都が毎日伝える感染状況、しばらくはこの数字くらいで推移すると考えられる。感染に対する個人個人の警戒意識、対人への配慮、そして「不要不急の無駄なことはない、できない」という日常生活の姿勢に大きな変化が起こっていることを自覚したい。(布上 記)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい

第一勧業信用組合 東浅草支店

010-6844573

東京グリーンワイズメンズクラブ

会計 青木方枝

<2020年07月 事業委員会・役員会報告>

【7月15日(水)のキックオフ例会(東陽町)について】

- ・YMCA東陽町で行います。15:30開始、17:30終了予定(飲み物ご持参ください)
- ・YMCAのコロナ汚染対策に沿って館内マスク着用、ソーシャルディスタンスとします。
- ・当日は関東東部 柿沼部長の「公式訪問日」。
- 同行者は浅見主査・樋口主査・布上メネット連絡員
- ・布上書記の4名です。
- ・メンバースピーチ 木村主事の「ミャンマー・レポート」
- ・7月プリテンは当日配布いたします。

《クールビズ:ノーネクタイ・ノージャケットで結構です》

【7月18日(土) 千葉ウエストクラブ設立総会

+関東東部第1回評議会】

・会場: 船橋商工会議所会館 (JR船橋駅から徒歩7分)

<設立総会> 12:30~受付 13:00~14:00

部役員出席者 柿沼部長・布上書記・浅見主査

・樋口主査・布上連絡員/西澤クラブ会長

<評議会> 14:30~16:30

クラブ参加者:上記に加え 青木会計(計7名)

(14:00ごろには会場に来てください)

《クールビズ:ノーネクタイ・ノージャケットで結構です》

【三浦屋:新倉メンとの協議に関連して・諸々検討中】

(7月3日 目黒・柿沼・布上で新倉メンと面談)

・神田川船の会開催 粹人丸 1艘で運行を検討

10月第二土曜日、10日を想定して逆算日程を組む

乗船人数(午前・午後で合計50名で検討。

・YMCA関係での前回、前々回乗れなかった方々への乗船打診を往復ハガキで行う(費用はクラブで?)

・7月末には神田川船の会のチラシデザインを決める。

・目黒実行委員長の総合判断もまとめ、例会で詳細検討。

・夏の納涼会企画 屋形船・船内料理(ランチタイム)予定

期日は8月19日(水)を候補/参加人数は20名程度

で外部の客をどうするか。個別に検討する。

【クラブ内の動向】 7月1日からの変更事項

・浅見クミ子さんが休会会員になります。

・古平光市メンが功労会員(有償)になります。

・会計担当の交代 青木方枝さん 口座はプリテン掲載

・8月5日(水)神田川委員会:和泉橋会館18:00~

・8月12日(水)はお盆休み。

・9月2日(水)神田川委員会:和泉橋会館 18:00~

・9月9日(水)Zoom 役員会11:00~

・9月16日(水)例会 YMCA 東陽町15:00予定

<伊奈地メンスピーチ依頼>

・10月3日(土)浅草橋ヒューリックでの「部大会」、

80名程度に絞り開催? 軽食は豪華弁当を考える?

アルコールは自己判断で自由に。(布上 記)

7月 Happy Birthday

新倉健司メン

塩入淑子特メネット

布上信子メネット



【東日本区理事引継ぎ式】 2020年6月16日(月)

会館JRM 会議室(2F)にて、理事就任式・引継ぎ式が執り行われました。

引継ぎは、山田敏明区理事から、板村哲也新理事へ、参加者は、小山久恵新書記、司会は利根川恵子元東日本区理事、司式は藤井寛敏元国際会長が務められました。式の様子はZoomを活用、東西日本区、多数のメンバーが接続、参加されました。(布上 Zoom参加)

学びと親睦を糧に外へ向かおう!

関東東部部長 柿沼敬喜



部の存続・発展をめざして理事のテーマである「変化」に注力して活動していく所存です。何卒、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

関東東部の現状は各クラブで独自の奉仕活動が行なわれておりますが、概して仲良しクラブ的な内向き傾向が強く「社会のニーズ」に応えているか、会員自らが外に出て視野を広げて他クラブの様を反面教師として再確認すべきかと思えます。

一方、ワイズの基本理念である「学びと親睦」は変える必要は無いと思っております。

また会員増強事業についてはChange! 2020の推進を図っていく所存ですが、その核となる会員一人ひとりが覚悟をもって広報マンとして外に向かう必要があると考えます。尚、その一番の武器は自クラブの強み(長所)を自らが誇りをもってPRできる様に他クラブとの交流を通じ自クラブの強み・弱みを認識しておくことも肝要です。

なお、新クラブ設立の件は「(仮称)千葉ウエストクラブ」が設立に向かって準備を進めております。

設立までに3年をかけて着実に進めて来た準備委員会(スポンサー:千葉クラブ)の皆様の多大な努力に敬意を表する一方、会員維持の為のハンドロップ策の重要性も改めて認識しました。

また、高齢化しているクラブの後継者問題やYMCAとの更なる関係強化も先ずはできる事から取り組んでいきたいと考えております。

今期は新型コロナウイルス感染の影響を受けて諸会議が暫くの間は変則的にならざるを得ないと思っておりますがご協力のほどお願い致します。

<部行事予定>

- ・7/18 第1回評議会
- ・10/3 部大会・千葉ウエストチャーターナイト
- ・11/14 第2回評議会
- ・4/17 第3回評議会・次期役員研修会 (柿沼 記)

VIVA ! Classical

なつかしの名曲「アルルの女」

コート・デュ・ローヌでも飲みながら～



作曲：ジョルジュ・ビゼー (1838-1875)

「アルルの女」第一、第二組曲 (1872)

指揮：アンドレ・クリュイタンス (1905-1967)

演奏：パリ音楽院管弦楽団 (1964年録音)

中2の授業で「アルルの女」第二組曲の3曲目メヌエットのフルートの音色が気に入り「スペリオパイプ」で吹いてみました。またほかにも前奏曲やファランドールなど短くて乗りやすい曲ばかりで親しみをおぼえました。

パリ出身のビゼーは9歳でパリ音楽院に入学した天才ですが、あまり売れなかつたらしいです。

「アルルの女」は34歳の時、ドーデの小説に基づく戯曲の付随音楽として作曲されました。物語は南フランス、アルルに近い農村が舞台となっています。

音楽はプロヴァンス地方に伝わる民謡、舞曲を使い、のどかな雰囲気を出しています。組曲は、のちに音楽会用に編集されたものです。この推奨CDはゆったりとしたテンポと、洒落たリズムで朗々と謳います。

・第一組曲；ビゼー自らが選曲した4曲です。

「前奏曲」：出だしはプロヴァンス民謡「3人の王の行列」です。次にアルトサクソによる甘美な曲、最後にバイオリンによる暗めのメロディー。

「メヌエット」：有名でない方の軽快なメヌエット。

南仏の明るい日射しを連想させます。

「アダジエット」：のんびりと時が過ぎる穏やかな曲。

「鐘」：鐘を表す3拍子(A-F-G)の力強いリズムに乗ってお祭りの気分です。

・第二組曲：ビゼー没後、友人のギローが選んだ4曲。

「パストラール」：牧歌と農民の踊りが楽しい。

「間奏曲」：のどかに唄うアルトサクソのソロ

「メヌエット」：有名なフルートの名曲です！

「ファランドール」：「3人の王の行列」とフランドル舞曲との組合せにより盛上ります。

アルルはゴッホが愛した町。行ってみたいなあ。

(樋口 順英 記)

東京 YMCA は 2020 年度の運営方針に、新しい国または都市の YMCA と新規プログラム開発、パートナーシップを少なくとも一つは実現させる。また双方向のパートナーシップとなる取り組みを強化すること掲げています。

日本でコロナウイルスがニュースで話題になりだした頃の2月下旬、ミャンマーYMCA ヘワークキャンプに行ってきました。

新たにミャンマーのネピドーYMCA とのパートナーシップを検討しています。ミャンマーは医療、教育が十分ではなく、軍政によって生活を奪われた人々も多くいます。それでも YMCA の幼稚園や、YMCA のリーダーたちは我々と同じように生きています。

格差社会も激しく、所得の低い世帯の子どもたちは学校に行かないで働いて家庭を支えています。また、職業につくとしても専門の知識を学ぶためには大学など、高い学費が必要となります。

ネピドーは 2006 年に首都が移転してきました。それによりホテルが多く立ち並び、周りには昔からの農園が多くあります。農業に携わる人が多く、生活の基盤となっています。ホテルで働く人もいますが専門的な知識を学ぶには学校も必要です。もともといた先住民たちは首都移転によって山奥に移住することになり、教育やライフラインなどより厳しい場所で暮らしています。私たち東京 YMCA は今年度から本格的なワークキャンプを計画していましたが、コロナウイルスによって状況が変わってきました。しかし、離れていても繋がっていることを忘れず、パートナーシップに向けて活動を進めていきます。

